

# 令和3年度 上半期 大和商工会 小規模事業者景況調査報告書

## 1. 調査要領

### (1) 調査対象

ア 対象地区 大和商工会管内小規模事業者  
イ 調査企業数 100 事業所  
ウ 回答企業数 99 事業所  
(回答率 99.0% )

### (2) 調査対象期間

令和3年1月～令和3年6月  
(調査時点 令和3年7月1日)

### (3) 調査方法

職員による巡回または窓口によるヒアリング調査

### (4) 調査対象と回答企業の構成

	調査対象		有効回答	
	企業数	構成比	企業数	構成比
製造業	12	12.0%	12	12.1%
建設業	31	31.0%	30	30.3%
卸・小売業	24	24.0%	24	24.2%
飲食・宿泊業	16	16.0%	16	16.2%
サービス業	17	17.0%	17	17.2%
合計	100	100.0%	99	100.0%

## 2. 地域内産業全体の景況概要

新型コロナが発生し売上と採算が大きく落ち込んだ前年同期と比べても、売上は減少し採算は悪化した。又、前期比でも売上減少と採算悪化となり、先行きが見通せない現状であるが、今後の見通しでは希望的観測を含みながら回復予測としている。

### 【後継者の状況】

製造業66.7%、建設業63.3%、卸・小売業70.8%、飲食・宿泊業87.5%、サービス業66.7%の事業所で後継者なしと回答

後継者 あり	26事業所	26.3%
後継者 なし	73事業所	73.7%

### 【売上高】

前年同期比は37.9%の事業所で減少。前期比は49.5%の事業所で減少。今後の見通しは27.3%の事業所で減少予測である。

#### 前年同期比

増加	不変	減少
32	27	36

DI値 47.89

#### 前期比

増加	不変	減少
13	36	48

DI値 31.96

#### 今後の見通し

増加	不変	減少
19	53	27

DI値 45.96

### 【採算】

前年同期比は43.2%の事業所で悪化。前期比は49.5%の事業所で悪化。今後の見通しは34.3%の事業所で悪化予測である。

#### 前年同期比

好転	不変	悪化
25	29	41

DI値 41.58

#### 前期比

好転	不変	悪化
12	37	48

DI値 31.44

#### 今後の見通し

好転	不変	悪化
17	48	34

DI値 41.41

### 【仕入単価】

前年同期比41.0%の事業所で上昇。前期比は40.2%の事業所で上昇。今後の見通しは44.4%の事業所で上昇予測である。

#### 前年同期比

上昇	不変	低下
39	53	3

DI値 68.95

#### 前期比

上昇	不変	低下
39	56	2

DI値 69.07

#### 今後の見通し

上昇	不変	低下
44	54	1

DI値 71.72

### 【販売（客）単価】

前年同期比70.5%の事業所で不変。前期比は72.2%の事業所で不変。今後の見通しは75.8%の事業所で不変予測である。

#### 前年同期比

上昇	不変	低下
14	67	14

DI値 50.00

#### 前期比

上昇	不変	低下
14	70	13

DI値 50.52

#### 今後の見通し

上昇	不変	低下
13	75	11

DI値 51.01

### 【資金繰り】

前年同期比22.1%の事業所で悪化。前期比は23.7%の事業所で悪化。今後の見通しは13.1%の事業所で悪化予測である。

#### 前年同期比

好転	不変	悪化
5	69	21

DI値 41.58

#### 前期比

好転	不変	悪化
2	72	23

DI値 39.18

#### 今後の見通し

好転	不変	悪化
3	83	13

DI値 44.95

### 【雇用動向】

前年同期比12.6%の事業所で不足。前期比は12.4%の事業所で不足。今後の見通しは15.2%の事業所で不足予測である。

#### 前年同期比

過剰	適正	不足
1	82	12

DI値 44.21

#### 前期比

過剰	適正	不足
1	84	12

DI値 44.33

#### 今後の見通し

過剰	適正	不足
1	83	15

DI値 42.93

### 【景況判断】

前年同期比37.9%の事業所で悪化。前期比は43.3%の事業所で悪化。今後の見通しは29.3%の事業所で悪化予測である。

#### 前年同期比

好転	不変	悪化
19	40	36

DI値 41.05

#### 前期比

好転	不変	悪化
11	44	42

DI値 34.02

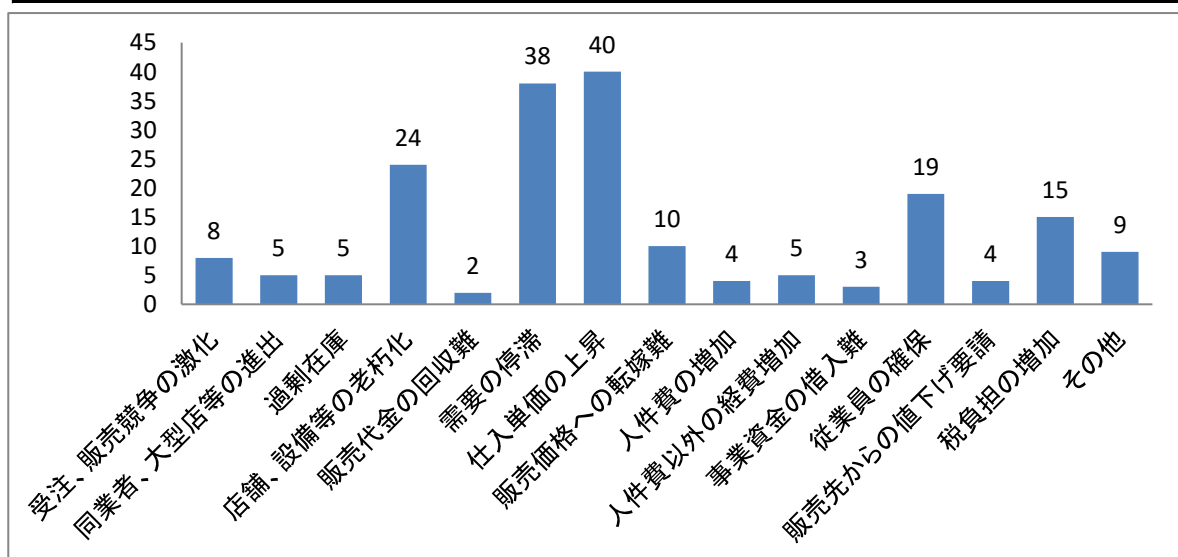
#### 今後の見通し

好転	不変	悪化
14	56	29

DI値 42.42

### 【経営上の問題点】

1番目の問題点は「仕入単価の上昇」、2番目の問題点は「需要の停滞」、3番目の問題点は「店舗、設備等の老朽化」となっている。



### 3. 産業別景況概要

#### (1) 製造業

今期の製造業の景況は、「売上DI」前年同期比79.2、前期比45.8、今後の見通し54.2。「採算DI」前年同期比66.7、前期比45.8、今後の見通し54.2。「資金繰りDI」前年同期比58.3、前期比50.0、今後の見通し58.3であり、「景況判断DI」前年同期比66.7、前期比54.1、今後の見通し58.3としている。前年同期比では増加、前期比ではほぼ横ばい、今後の見通しでは若干の増加を見込んでおり、労働力の不足感がある。また、仕入単価は上昇傾向にあるが、販売単価に反映できないでいる。経営上の問題点1位「仕入単価の上昇」2位「店舗、設備等の老朽化」3位「需要の停滞」となっている。

#### (2) 建設業

今季の建設業の景況は、「売上DI」前年同期比45.0、前期比30.0、今後の見通し46.7。「採算DI」前年同期比40.0、前期比31.7、今後の見通し38.3。「資金繰りDI」前年同期比40.0、前期比38.3、今後の見通し45.0であり、「景況判断DI」前年同期比40.0、前期比36.7、今後の見通し45.0としている。前年同期比ではやや減少、前期比で減少、今後の見通しはやや減少としている。尚、仕入単価は大きく上昇傾向にあるが、販売単価に反映できないでいる。経営上の問題点1位は圧倒的に「仕入単価の上昇」2位「従業員の確保」と「需要の停滞」3位「税負担の増加」となっている。

#### (3) 卸・小売業

今季の卸小売業の景況は、「売上DI」前年同期比39.6、前期比31.3、今後の見通し29.2。「採算DI」前年同期比31.3、前期比27.1、今後の見通し27.1。「資金繰りDI」前年同期比37.5、前期比35.4、今後の見通し35.4であり、「景況判断DI」前年同期比30.4、前期比27.1、今後の見通し29.2としている。前年同期比で減少、前期比ではさらに減少、今後の見通しでも減少としているが、増加としている事業所もある。経営上の問題点1位は「需要の停滞」と「店舗、設備等の老朽化」3位「仕入単価の上昇」となっている。

#### (4) 飲食・宿泊業

今季の飲食・宿泊業の景況は、「売上DI」前年同期比36.7、前期比15.6、今後の見通し62.5。「採算DI」前年同期比30.0、前期比12.5、今後の見通し56.3。「資金繰りDI」前年同期比33.3、前期比37.5、今後の見通し46.9であり、「景況判断DI」前年同期比30.0、前期比18.8、今後の見通し50.0としている。前年同期比で減少、前期比ではさらに大きく減少、今後の見通しでは希望的観測を含んで増加している。経営上の問題点1位は圧倒的に「需要の停滞」2位「仕入単価の上昇」3位「店舗、設備等の老朽化」となっているが、コロナの終息がなければ大きく改善することはないと考えている方がほとんどである。

#### (5) サービス業

今季のサービス業の景況は、「売上DI」前年同期比50.0、前期比43.3、今後の見通し47.1。「採算DI」前年同期比50.0、前期比37.5、今後の見通し44.1。「資金繰りDI」前年同期比43.3、前期比40.0、今後の見通し47.1であり、「景況判断DI」前年同期比50.0、前期比40.0、今後の見通し38.2としている。前年同期比で横ばい、前期比では減少、今後の見通しでは若干減少としているが、増加としている事業所もある。経営上の問題点1位は「需要の停滞」2位「店舗、設備等の老朽化」3位「従業員の確保」となっている。



